

森林環境教育について交流した大学生と北桑田高森林リサーチ科生徒ら（京都市右京区京北下弓削町・北桑田高演習林）



## 全国の学生ら北桑田高訪問

# 京北の林業教育に関心

### 実習「生徒、生き生き」 見学

近畿中国森林管理局（大阪市北区）の「森林環境教育プログラム2007」に全国から応募した大学生が二十日、北桑田高（京都市右京区京北下弓削町）を訪れ、同高森林リサーチ科の生徒と交流した。森の恵みや環境問題について、互いに見聞を広めた。

同プログラムの本年度行 拠点に行われている。事は、京北地域の暮らし、産 北桑田高には、参加した業、自然、グリーンツーリズム 大学生約二十人中六人が訪ルを調査、体験する内容。十 田中良泰教諭からリサーチの教育内容を聞いた。校内には全国でも有数の北山の家（京北小塩町）を た。校内には全国でも有数の

の木材加工実習施設があり、三年生二十七人が実際に作業する授業などを見学した。

京都精華大人文学部三年の千賀優子さん（三）は「生徒が生き生きしているように感じました」と林業教育に関心を持った様子。大学生はほかにも京北地域の宇津峡公園などを調査し、最終日の二十一日に全体討議を行う。（井上年史）